

# ようこそ

毎朝納骨堂で  
お勤めをします



(上) 本堂で勤行後  
7時からお勤めです  
有縁の皆様どうぞ  
お参り下さい  
(6月26日)

(左) 常朝事同行の  
清松カツコさん  
朝一番に納骨壇の  
お扉を開けてくれます  
ありがとうございます  
(6月30日)

第 37 号  
浄土真宗本願寺派  
円光寺  
〒870-0108  
大分市三佐3-15-18  
TEL097-527-6916  
FAX097-527-6949

お世話になって、ありがとうございます。

お墓の形態が変わってきています。古里から町に出て、家庭をもち、子どもを育て、職を退いて、終の棲家に暮らす人たちがいます。日本の戦後、高度経済成長時代を支え、懸命に生きてきた人たちとその家族です。

この身に訪れる人生の終焉を思うとき、死後のことが気になります。葬式はどうするか、納骨はどうするか、法事は……と、考えたら心配です。そして出した結論は、子どもに迷惑をかけたくない、ご近所にも迷惑をかけたくない。だから葬式も納骨も自分でちゃんと始末して命終えていきたいと、お寺に相談にみえる方が増えています。

古里には先祖代々のお墓はあるが、両親も亡くなり帰省することもなく、お墓のお守りも親族に迷惑をかけたくないと、家の近くに納骨所を求めて永代墓にしたら、子どもにも迷惑がかからないし、子どもは子どもで考えたらいいと言います。

迷惑をかけるといいます。人と人が織りなすこの社会ですから、実は迷惑をかけているお互いなのです。年を重ねることに迷惑をかけていることを負担に思うようになり、迷惑をかけたくなると頑張る心が強くなるのでしょうか。

しかしどんなに頑張ってもできないこともあります。そのまま現実を受け入れ、持ちつ持たれつ、お互いに支え合って生きていけばいいのにとお思います。迷惑ではなくお世話になっていると、「迷惑をかけて、すみません」ではなく、「お世話になって、ありがとうございます」とお互いが言えたらいいですね。そういう関係のなかで私にできることをさせていだきましよう。そしてお世話になる時はお世話になりましよう。「ありがとう」の言葉を添えて。



# お念仏申す思い一つに 聞きましょう 考えましょう そして始めましょう!

## ある日の法話会

先日お寺の法話会でのこと、お参りの方が一人でした。「私一人じゃ気の毒ですから帰ります」と言われて、「私一人のための縁ですよ」とご一緒にお聴聞させていただいたことです。

お寺参りは、住職のためにか、お役だからということではありません。仏さまの縁は私一人の縁であり、今こたただ今のご縁です。人を何人集めることが目的ではなく、一人でも仏さまのご縁に遇ってほしいと思います。

## お寺のご縁いろいろ

お寺のご縁はご法座とってお勤めをし仏法聴聞させていただきます。お寺で趣味の会をすることもあり、お寺のご縁は仏徳讃嘆のご縁です。ただお寺という場所を借りるのではなく、お寺で縁をいただくことが大事なのです。

お寺の中心はご本尊の阿弥陀如来さまです。お寺のご縁は何事も仏さまにお礼して始まりお礼をして終わることが基本です。

## お寺の現実

ずっと以前のことです。お寺の住職の集まりで「ご法座にお

参りする人が少なくなった「お念仏の声が小さくなった」という話をよく聞きました。そして「これからお寺はどうなっていくのか」という話になりました。今はどうか。そんな話題もあり聞かれなくなりました。では問題解決して、ご法座のお参りが多くなり、お念仏の声が大きくなったのかというと、門徒の寺離れというもつと深刻な事態になつている現実があります。

## それでどうする

このままではお寺が危ない。まさにお寺の存立の危機です。浄土真宗のお寺は念仏聞法の道場といわれ、地域の人々の生活の依りどころもありました。でも今は大きな建物はあつても行き交う人がいない、文化遺産になつてしまつていくという厳しい指摘もあります。これではもつたない。仏さまに申し訳

ありません。今一度お寺の原点に立ち返り、ご本尊を中心とした念仏聞法の道場を一つ一つ開いていきたいものです。

## 新たな取り組み

昨年四月から大分市のコンパルホールにご本尊をお供して毎月法話会を開いています。八月からは寺内のあんのん館で「みんなの法話会」を始めました。

いづれの会も本紙「ようこそ」有縁の皆様を対象にしたもので、勝手に「ようこそアミダともの会」と銘打つて、広く地域の皆さんにも声かけをしています。中心、基本を心得て、皆さんと相談しながら楽しい会をつくっていきたいと思います。

一年経つて、メンバーが決まってきました。住職のためとかお役だからということではなく共に歩む念仏のとも同行です。お念仏申す思い一つに、これからのお寺を考えていきたい、そして今できることから始めていきたいと思ひます。

# 大分まちなかお寺フォーラム

## テーマ 「現代社会と浄土真宗」

講師 藤崎秀勝 師(福岡県法照寺住職)

とき 8月22日(月) 午後1時半〜4時半

ところ 大分市コンパルホール(三〇九会議室)

## 世々生々

アメリカのオバマ大統領が被爆地広島を訪問した。原爆を投下した国の現職大統領の初めての訪問は世界中から大変注目された◆各局テレビで実況生中継された。安倍首相と共に平和記念資料館を見学、原爆死没者慰霊碑に献花しスピーチを行った◆世界で唯一原爆(核兵器)を使つた国の大統領が謝罪の言葉はなく、献花の後頭を下げるようなこともなかった

◆大統領という公人としてアメリカの世論に配慮したものとして、今回は世界唯一の被爆国である日本の広島を訪れたという意義が強調される◆あれから71年、生き残つた被爆者の方々は高齢化が進み、年々亡くなる人が多い。長い歳月を振り返り今何を思うのか。ヒバクシャは今もなお国際政治のはざまで翻弄される◆人間に本来公私の区別はない。みんな等しく丸裸で人と生まれ人と生きる者同士。あなたと私の立場を超えて互いに心通う私たちになりたいと思う◆オバマ大統領は折り鶴を資料館に贈つたという。近い将来オバマさんとして再び広島をそして長崎を訪れ、被爆者の皆さんに直接声をかけてほしい。真の平和への歩みはそこから始まる。



お朝事「法話」より

指定席のお救い

皆さん本堂にお参りしてどのイスに座ろうかと考えますか。空いてる席にということですが、いつものお同行は座る席が決まっています。指定席です。

電車に乗ります。電車には指定席と自由席がありますが、どちらの席を求められますか。指定席は若干高いのですが、指定席をとっていると、電車の出発時間に間に合えばゆつくりあわてず乗れるということ。一方自由席の場合は、たくさん人が乗るのではないかと心配で早めに駅に行きます。そして列に並びますが、長い列だと果たして座る席があるかどうか不安になります。

浄土真宗のご法義、阿弥陀さまの本願念仏のお救いは指定席のお救いです。それも私がここだと決めて切符を求めて手にする指定席ではありません。阿弥陀さまの方でもうすでに私が座る指定席を用意してください。ここに座れとおすすめるのです。「我にまかせよ」安心して「必ず救う」ここに座れと、南無阿弥陀仏と喚び通します。あなたの

居場所はここですから、大丈夫だから安心して座っておくれ、そのまま救うとおはたらきです。列に並ばなくていいんです。席があるかどうか心配しないでいいんです。阿弥陀さまが、この私の席をちゃんと決めてくださっているから大丈夫なのです。仏さまのご縁に会いましょう。お寺には自由席がいっぱいあります。いつでもどうぞゆつくりゆつたり座ってお聴聞させていただきます。ここが私の指定席だったといたただいてお念仏申させていただきます。 (6月19日)

「はい。」とそのまま

昨日ご法事のご縁で、お参りの皆さんが座るところにイス席が一つ用意されていました。足の悪い親戚の方のために用意されたものでした。「遠慮なく座りよ」と周りの方が何度もすすめ、私もどうぞと言いました。頑として座りません。そのままお勤めをして、その後振り返ったら正座しているんです。

御仏前で威儀を正す心がけは大切ですが、その人のことを思い心配してイス席を用意してくれているわけですから、「はい。」と言って座ればいいのに、「本堂におばちゃん素直じゃないん

だから」と言われていました。私たちが中々素直になれないところがあります。特別扱いされたくない、まだまだ元気で頑張れるとでもいうのでしょうか、自分のことをそのまま素直に受け入れることができません。

阿弥陀さまのお救いは私だけの特等席という指定席のお救いです。この私のことをずっと見て取り思い続け私を救うすべての手立てを南無阿弥陀仏と用意してくださっています。ナモアミダブツ、念仏申してくれよというんですから、「はい。」とそのままナモアミダブツ、お念仏申せばいいんです。

信心いただけ念仏申せよそのまま救うと言われても、私のところから力が入りません。疑い心だから次へと起こってきます。だからこそ阿弥陀さまのお心を

聞けよ、聞いて聞き抜けよと。お聴聞に終わりはありません。法聞けよ、念仏申せよそのまんなま、必ず救う弥陀のよび声を、今日も一日お念仏申すなかに私のこととして聞かせていただきます。 (6月23日)



子ども会すいよう学校修了式 この一年間よく通ってくれたお友だちにこほうびのメダルをあげました(3月9日)

ご案内

- ◆常例法座 7月15日(金) 10:00~11:30
- ◆子ども会サマースクール 7月31日(日)~8月1日(月)
- ◆初盆会・盆おどり大会 8月12日(金) 19:00~21:00
- ◆全戦没者追悼法要 (平和を願う鐘つき) 8月15日(月) 11:00~12:00
- ◆秋季彼岸会法要 9月21日(水) 11:00~15:00 同 19:30~21:00 9月22日(木) 13:30~15:00
- ◆敬老会 9月29日(木) 11:00~13:00
- ◆常例法座 10月17日(月) 10:00~11:30

“月に一度は お寺参りしましょう”

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。





ご門徒皆さんが持ち寄ってくれたプランターのお花が  
いっぱい円光寺に老若男女が集い  
お釈迦さまのお誕生をお祝いました



お釈迦さまの  
絵本の読み聞かせをして  
いただきました



お釈迦さまの誕生仏を  
のせた白象をひいてお寺の  
周辺をパレードしました

にぎやかに花まつりの会(4月3日)



中学卒業と高校入学をみんなで  
仏さまに奉告しました  
これからもお寺の手伝いをお願いします  
(3月23日)



小学新一年生を祝う会  
花まつり特設花御堂の前で  
またお寺に遊びに来てね(4月3日)

春が来て……旅立ちのとき



親鸞さまのお誕生をお祝いして  
紅白のもちまきをしました  
ご家族におすそ分けしてください



ほれほれと仏法聴聞  
酒井信也師(宇佐市円徳寺御住職)に  
ご法話お取り扱いいただきました



大盛況の仏教婦人会  
物品バザー  
振り出しものがありましたか?

親鸞聖人降誕会法要(5月22日)

「地震どうやった」四月の地震  
発生から間もなく関東の友人か  
ら電話があった。嬉しかった。  
目に見える被害はなかったが、  
連日玄関近くの部屋で、枕元に  
避難物資のリュックを置き普段  
着で寝起きしていた。不安だった。  
声をかけてくれる人がいる。  
何かほっと安心する。遠く離れ  
ていてもつながっている。いの  
ちのぬくもりを感じる有難さ。  
声かけの大切さを思う。人が  
たくさん行き交う日暮しのなか  
で、声をかけ合う人が一体どれ  
だけいるだろうかとも思う。  
お寺は声かけの発信基地だ。  
「必ず救うまかせよ」と南無阿弥  
陀仏の声になった仏さまの願い  
をいただいて、すぐ隣の人にお  
念仏の声かけをしていこう。

あ と が き



町角伝道掲示板(円光寺墓地)  
6月のことは「ずっと思われていた  
いつも思われている」(6月29日)